

平成24年度  
雲仙市補正予算 (案) 資料

(第<sup>5</sup>回補正)



<資料の目次>

	ページ
平成24年度第 <sup>5</sup> 回補正予算 (案) の概要 <sup>5</sup>	1
一般会計補正予算 (第 <del>4</del> 号)	2
簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号)	5
下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	5

長崎県 雲仙市

# 平成24年度第<sup>5</sup>4回補正予算(案)の概要

平成24年11月29日  
雲仙市総務部財政課

## 1 今回補正額

(単位：千円)

会計名	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)
一般会計	<del>27,759,706</del> 27,733,809	130,464	<del>27,890,170</del> 27,864,273	1.0 0.9
簡易水道事業特別会計	1,018,854	△ 63,415	955,439	△ 13.3
下水道事業特別会計	1,292,057	△ 52,960	1,239,097	△ 5.5
合計	<del>39,331,080</del> 39,305,183	14,089	<del>39,345,169</del> 39,319,272	0.7

※1 対前年度同期比は、補正後予算額の比較

※2 合計欄の補正前・後予算額には、今回補正を行わなかった会計分を含む。

## 2 今回補正の主な内容

〈予算〉

〔今回補正額〕

〔予算計上区分〕

### ①一般会計

いじめ防止専門委員会運営事業

66千円

新規

漁港施設災害復旧事業

55,897千円

追加

〈繰越明許費〉

### ①一般会計

追加 8件

〈地方債〉

### ①一般会計

変更 1件

### ②簡易水道事業特別会計

変更 3件

### ③下水道事業特別会計

変更 2件

## 3 今回補正の主な留意点

- ① 補助金の内示等を受けた事業のほか、早期に執行を要する経費を計上
- ② 前年度事業費の確定に伴う国県支出金の精算による返還金を計上
- ③ 年度内に完了しない見込みの事業について繰越明許費を計上

●一般会計（第 <sup>5</sup> 号）	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)
	<del>27,733,809</del> 27,759,706	130,464	<del>27,864,273</del> 27,870,170	<del>0.9</del> 1.0

※再掲

### 補正予算の主な項目

〈歳入〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	予算書 ページ
1	10 地方交付税	普通交付税	<del>11,200,270</del> 11,226,167	85,854	<del>11,286,124</del> 11,312,021	財政課		13
2	14 国庫支出金	公共土木施設災害復旧費国庫負担金（漁港施設災害分）	0	34,017	34,017	農漁村整備課	○	14
3	15 県支出金	福祉医療費県費補助金	28,739	1,770	30,509	子ども支援課		15
4	15 県支出金	長崎県緊急雇用創出事業臨時特例補助金	4,335	2,573	6,908	商工労政課		15
5	21 市債	現年漁港施設災害復旧事業債	0	16,900	16,900	財政課	○	17

〈歳出〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ	本資料 ページ
6	2 総務費	いじめ防止専門委員会運営事業	0	66	66	政策企画課	○	1	21	3
7	3 民生費	障害者福祉事務費	555	59,574	60,129	福祉課		3	23	
8	3 民生費	福祉医療費支給事業	62,091	3,709	65,800	子ども支援課		3	24	
9	6 農林水産業費	農道維持管理事業	0	2,634	2,634	農漁村整備課	○	4	27	
10	11 災害復旧費	漁港施設災害復旧事業	3,466	55,897	59,363	農漁村整備課		4	31	4

#### 【雲仙市総合計画における基本方針】

- 1 みんなでつくるまちづくり    2 快適で住みよい暮らしづくり    3 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり  
4 力強い産業と仕事づくり    5 新しい観光・交流による活力づくり    6 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

一般会計(2 総務費)

1 みんなでつくるまちづくり

いじめ防止専門委員会運営事業(新規)

●事業目的

「雲仙市子どものいじめの防止に関する条例(案)」の規定に基づいて設置するいじめ防止専門委員会を運営するための経費。

この委員会は、いじめの防止・解決を図るために必要な調査、審査、審議又は関係者との調整を行う。

●事業主体 雲仙市

●補正の理由 「雲仙市子どものいじめの防止に関する条例(案)」に関連して所要の経費を新規計上

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
0	66	66

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	市債	その他	一般財源	
66					66	報酬 43
(66)					(66)	旅費 21
						需用費 2
(財源割合)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

①委員人数	5名
②委員構成	弁護士、臨床心理士、人権擁護委員、警察関係者、 県のこども支援機関関係者 ※委員長1名 副委員長1名
③今回補正額の内容	
・委員報酬	43千円
・委員旅費(費用弁償)	21千円
・需用費(食糧費)	2千円

●事業担当課 政策企画課

一般会計(11 災害復旧費)

4 力強い産業と仕事づくり

漁港施設災害復旧事業

●事業目的

台風16号により被災した漁港施設について、その機能回復を図り、漁港施設の安全と利便性を確保する。

●事業主体 雲仙市

●補正の理由 本年9月の台風16号により被災した漁港施設について、速やかに施設の機能回復を図る必要があるため。

●事業費

(単位:千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
3,466	55,897	59,363

●今回補正額の内訳

(単位:千円)

今回補正額	財源					今回補正額の節別内訳
	国	県	市債	その他	一般財源	
55,897	34,017		16,900		4,980	旅費 40 工事請負費 -
(59,363)	(34,017)		(16,900)		(8,446)	
(財源割合)	(57%)	(0%)	(29%)	(0%)	(14%)	

※括弧書きは、補正後予算額及びその財源割合

●事業(補正)の内容

①現年漁港施設災害復旧事業			
(補助事業)			
京泊漁港白頭防波堤	(南串山)		
京泊漁港城崎新護岸	(南串山)		
千千石漁港G護岸	(千々石)		
(単独事業)			
千千石漁港G護岸附帯工	(千々石)		
②漁港施設小災害復旧事業			
(単独事業)			
赤間漁港防波堤	(南串山)	富津漁港船上げ場	(小浜)
千千石漁港護岸	(千々石)		

●事業担当課 農林水産商工部 農漁村整備課

●簡易水道事業特別会計 (第2号)	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)	※再掲
	1,018,854	△ 63,415	955,439	△ 13.3	

補正予算の主な項目

〈歳入〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
1	2 国庫支出金	愛野地区統合簡易水道整備事業国庫補助金	60,000	△ 9,600	50,400	水道課			12

〈歳出〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
2	2 施設費	愛野地区統合簡易水道補助事業	195,067	△ 28,800	166,267	水道課			18

●下水道事業特別会計 (第2号)	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度 同期比(%)	※再掲
	1,292,057	△ 52,960	1,239,097	△ 5.5	

補正予算の主な項目

〈歳入〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
1	3 国庫支出金	公共下水道事業費社会資本整備総合交付金	114,030	△ 24,715	89,315	下水道課			11

〈歳出〉

(単位：千円)

No.	款	項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	所管課名	新規	総合 計画	予算書 ページ
2	2 公共下水道事業費	瑞穂地区下水道施設整備事業	237,968	△ 37,600	200,368	下水道課			17
3	2 公共下水道事業費	吾妻地区下水道施設整備事業	35,094	△ 15,360	19,734	下水道課			17

【雲仙市総合計画における基本方針】

- 1 みんなでつくるまちづくり    2 快適で住みよい暮らしづくり    3 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり  
4 力強い産業と仕事づくり    5 新しい観光・交流による活力づくり    6 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり